

TOYOTA MARINE

Ocean Style

Sep 2022 Vol.13

Proposed
the Play of Ocean



Play!

海の楽しさは、無限だ。

一人ひとりの海の楽しみ方に応えるための、
テクノロジーとデザイン。

そのパフォーマンスを体感した時、
あなたの海の歓びはきっと広がっていく。

フィッシングにとどまらない、
海を楽しむ尽くすための贅沢な一艇。

Premium Sport Cruiser

PONAM-28V

かたログ請求はこちら



◆Sグレード：本体価格 21,780,000 円(税込) / Xグレード：本体価格 28,380,000 円(税込)

*写真はSグレード、オプション装着艇 ※写真には撮影用小物等を含むことがあります。

TOYOTA MARINE

詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン事業室 トヨタマリン営業所 ☎ 0120-532-451 | www.toyota.co.jp/marine/



TOYOTA MARINE
Ocean Style

Proposed the Play of Ocean



TOYOTA MARINE



LEXUS LY650
日本ボート・オブ・ザ・イヤー2021特別賞受賞

08



第61回 ジャパンインターナショナルボートショー2022 開催
2022/3/31-4/3 in Yokohama Bay Side Marina & PACIFICO Yokohama

10



西洋と東洋の文化が交差する街で新しい食の体験に出会う
～横浜ベイエリア **グルメクルージング**～

14



ポーターシリーズ カスタム艇紹介

muta Marineデザインのラッピングと
SeaDekでPONAM-31をドレスアップ

22



普段の釣りを2倍楽しくする方法
釣りとランチクルーズを1日で楽しんでみよう

26



トヨタ自動車本社工場でもアルミハルを生産へ
アルミハル内製化までのプロセスに迫る

30



トヨタマリンのサービス部門が、
大切にする**安全・安心への想い**とは

34



ポーターシリーズ試乗会レポート
「乗っていて楽しい」、「近未来的なデザイン」、
来場者が口々に語ったポーターの魅力とは

36



MARINA DIVIDE VOL.14 SHONAN SUNNY SIDE MARINA

マリーナ探訪 | 湘南サニーサイドマリーナ

38

PONAM LINE UP ポーターラインナップインフォメーション

40

ROGER DUBUIS

NO RULES, OUR GAME



EXCALIBUR
Monobalancier



HASSIN
WATCH & JEWELLERY

愛知県大府市共和町 3-8-9
TEL : 0562-48-8811
火曜定休 營業時間：11:00-19:00





ジャパンインターナショナルボートショー初日に開催されたBOTYの授賞式でLEXUS LY650が特別賞を受賞した。

LEXUS LY650 日本ボート・オブ・ザ・イヤー2021特別賞受賞

今年3月に「日本ボート・オブ・ザ・イヤー実行委員会（以下BOTY）」によって、2021年度のグランプリと各部門賞が発表された。授賞式ではLEXUSが提案する新しい海のモビリティ「LEXUS LY650」が「日本ボート・オブ・ザ・イヤー2021特別賞」を受賞した。



BOTYの実行委員長を務める山崎憲治氏。



授賞式には演出家のテリー伊藤氏も登壇。



来場者に向けて、特別賞受賞の喜びを語る上田孝彦 マリン事業室長とLexus International ブランディング推進部 富樫弘央 部長。



BOTYとは？

BOTYは毎年日本国内で販売されるモーターボートの中から、年間を通じて最も優秀なモデルを選定し、「日本ボート・オブ・ザ・イヤー」の称号を授与している。また、サイズやコンセプト毎に各部門賞を設けており、サイズでは小型、中型、大型、PWCの4区分に分けて部門賞を設定。コンセプト毎には「BEST VALUE」、「BEST FUN」、「BEST FISHING」といった3つの部門賞も設けており、BOTYの実行委員会によって公正・公平に選考されている。BOTYではグランプリ艇をはじめ、各部門賞の受賞艇の開発・製造事業者を讃えることで、より一層の性能・品質・安全の向上を促すと共に業界発展と地球環境保護、水上安全にも寄与している。

卓越したデザインが高く評価される

「LEXUS LY650」はLEXUSが目指すラグジュアリーライフスタイルブランドのフィロソフィーを、陸だけでなく海上でも実現しており、世界のヨット市場を見据えた65フィートの船体に、最新テクノロジーと匠の技を融合している。また、細部に渡り徹底的にこだわり抜く「CRAFTED」の思想を具現化することで、LEXUS YACHTSのフラッグシップ艇として、ラグジュアリーな世界観を表現している。今回は卓越したデザインと、秀逸な仕上がり、安定した走行性能が高く評価され、BOTYの実行委員会より「特別賞」が授与された。今後もLEXUSが提供する新しい海のモビリティに、ぜひ注目して欲しい。

LEXUS LY650

全長：19.94m 全幅：5.76m
 エンジン：Volvo Penta IPS1350/1200/1050
 燃料タンク容量：4,012L
 清水タンク容量：852L
 客室数：3部屋（ベッド6名対応）



1. LEXUS LY650はエンジンにVolvo Penta D-13 IPS 1350を2基搭載。1000馬力を誇るデュアルステージターボ・ディーゼルエンジンは操船者に爽快な乗り味を楽しませてくれる。2. インテリアデザインは、LEXUSデザインと世界的なプロダクションヨットビルダーのデザインを手がけるヴェネチアのNuvolari Lenard氏とのコラボレーション。3. バウキャビンにはVIPステートルームを設置。シェル型にデザインされたベッドを配置するなど、レクサスのデザインフィロソフィーが十分に表現されている。4. ロアデッキの中央に設置されたマスターステートルームは十分な天井高を確保し、室内にはキングサイズのアイランドベッドを配置するなど、ラグジュアリーな空間に仕上げられている。5. 曲線で描かれたソファやテーブルも配置。VIPステートルーム同様に、専用のシャワールームも用意されている。

※掲載内容は2022年9月現在のものです。※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含む事があります。※現在は販売を中止しております。

LEXUS LY650
の詳細はこちら



お問合せ先

トヨタマリン営業所 (TOYOTA MARINE ラグーナ)

〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2-1 フリーダイヤル 0120-532-451 営業時間 10:00~17:00 定休日 火・日曜日

LEXUS LY650写真提供：株式会社パーフェクトボート

第61回 ジャパンインターナショナルボートショー2022 開催

2022/3/31-4/3 in Yokohama Bay Side Marina & PACIFICO Yokohama

国内最大級のボートショーとして知られるジャパンインターナショナルボートショーが今年も神奈川県横浜市で開催された。今回は3年ぶりに横浜ベイサイドマリーナとパシフィコ横浜の2会場で開催され、【海・ここが夢の入口】をテーマに244社が出展。4日間合計で約31,000名が訪れる活気溢れるイベントとなっていた。



パシフィコ横浜では主にボート、ヨット、水上バイク、マリン用品など、各社の最新モデルを紹介する展示が行われた。



横浜ベイサイドマリーナでは大型クルーザー・ヨットなど63隻が海上で展示された。



横浜ベイサイドマリーナ会場に出展

今年は3年ぶりに2会場で開催されたことで、パシフィコ横浜ではボート、ヨット、水上バイク、マリン用品などの最新モデルや、マリーナ・マリン関連サービスを紹介する展示が行われた。フローティング会場となった横浜ベイサイドマリーナには大型の輸入艇をはじめ63隻のボートやヨットが海上展示され、トヨタマリンでは横浜ベイサイドマリーナにLEXUS LY650、PONAM-31、PONAM-28Vの計3艇を出展。特に昨年10月にジャパンプレミアを開催し、今回のボートショー初日に「日本ボート・オブ・ザ・イヤー2021特別賞」を受賞したLEXUS LY650の注目度は非常に高く、会場では大勢の来場者が船内を見学するための事前予約の受付に列をなした。また、ポーナムシリーズ2艇もそれぞれのデッキや船内にて、真剣な眼差しで担当者と話し込む来場者の姿が頻繁に見られており、改めてポーナムシリーズの高い人気を実感することもできた。



トヨタマリンが出展した横浜ベイサイドマリーナ。初日から大きな賑わいを見せていた。



イベント初日に「日本ボート・オブ・ザ・イヤー2021特別賞」を受賞した「LEXUS LY650」



トヨタマリンでは人気モデルPONAM-31とPONAM-28Vを出展。



TDSを使った離着岸デモンストレーションを実施。大勢の来場者がTDSの精度に驚きの声をあげていた。

TDSの離着岸デモを実施

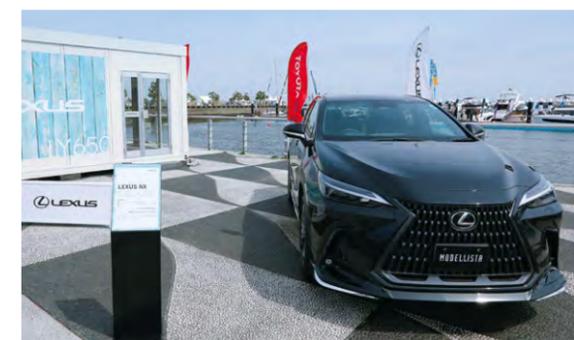
トヨタマリンのブース前では安心して正確な離着岸が行なえる操船支援システム TDS(トヨタドッキングサポート)の離着岸デモンストレーションを実施。当日はタレントの伊丹 章氏がTDSのメリットや詳細な機能について、モニターを使い来場者に分かりやすく解説していた。デモンストレーションではTDSを搭載したPONAM-31にスタッフが乗船し、実際にTDSを使った離着岸の様子を披露。サイドスライドモードではボートが棧

橋と平行に移動しながら離岸しており、来場者は左右に大きくブレることなく真っ直ぐに離岸するボートを見て、驚きの声をあげていた。また、ドッキングアシストモードでは事前に地点登録した場所にボートが正確に着岸を行っており、こちらも着岸が完了する頃には精度の高さに驚く声があちこちから聞こえてきた。TDSは実際にご自身の目で見て頂くことで、想像以上の精度を確認して頂くことができるだろう。ボートショーや試乗会などで、デモンストレーションが実施されている際にはぜひ多くの方に見て頂きたいと思う。



今年はボートだけでなく クルマの展示も実施

今年は海上に3艇のボートを出展するだけでなく、陸上にもLEXUSとトヨタの人気車種をそれぞれ1台ずつ展示。LEXUSからは昨年10月に発売され、次世代LEXUSの幕開けを象徴する第1弾モデル新型「NX(モデルスタ仕様)」、トヨタからは本格オフローダーとして、堂々とした品格ある佇まいの「LAND CRUISER(モデルスタ仕様)」が展示され、インパクト抜群の2台の展示エリアには多くの人集りができていた。ボートと同様の熱量で展示車両をチェックしている人たちを見ていると、ボートショーに来場する方の多くはクルマにも高い関心を持っているのではないかと感じた。今年のトヨタマリンの展示はボートだけでなく、クルマにも高い注目が集まる非常に魅力的な展示内容となっていた。



LEXUS NX(モデルスタ仕様)を展示。よりワイドで安定感のあるフロントフェイスとキレのあるメッキ加飾で、輝き溢れる軽快な表情を演出している。



こちらもモデルスタ仕様にドレスアップされたTOYOTA LAND CRUISER。迫力ある見た目と洗練されたスタイルを両立している。



トヨタマリンブース外観。



LEXUS LY650の見学予約を行う来場者。



ブース内ではトヨタマリン製品の特徴を紹介する展示が行われた。

1. 来場者にTDSの特徴を説明するトヨタマリンスタッフ。2. 陸上からは多くの来場者が離着岸の様子を注視していた。3. ドッキングアシストモードを起動後は周囲の安全をしっかりと確認しつつ、ステアリングを操作することなく正確な着岸に成功していた。4. TDSの詳細を分かりやすくモニターで解説する伊丹 章氏。5. トヨタマリンのSNSをフォローした方にはどら焼きが配られた。6. ブースでは試乗会の予約受付も行われ、連日多くの方が申し込みを行っていた。7. TVASやTDSなどの操船支援システムを紹介する展示も行われた。8. TDAのジョイスティックを使ったシミュレーターで着岸操船を体験する来場者。

ボートショーに参加した社内外のスタッフが集まり記念撮影。こうしたイベントを通じて、更なる連携強化が期待できそうだ。



西洋と東洋の文化が交差する街で新しい食の体験に出会う

～横浜ベイエリア **グルメクルージング**～

日本有数の港湾都市として古くから栄える横浜は約200年に及ぶ鎖国が解かれて以降、洗練された西洋文化が街に流入したことで、西洋と東洋の文化が折り混ざる独自の文化を形成してきた。今回は横浜ベイエリアにある優雅なプライベート空間が広がる滞在型リゾートで、一流のシェフが作る「ミネラル感」溢れる料理を求めて、PONAM-31で海に出た。



横浜みなとみらいの新港ふ頭に今年4月に「新港8号ビジターバス」がオープン。人気観光地が集まる横浜ベイエリアに気軽にアクセス可能な海の玄関口が誕生した。



心地よい海風を感じつつ、海上から横浜の街を観る

横浜の街には横浜みなとみらいをはじめ、人気の観光地が多く点在しており、週末には多くの観光客で賑わいをみせる。特に、ランドマークタワーや赤レンガ倉庫などが集まる横浜みなとみらい地区は毎年のように大型商業施設や複合施設がオープンするなど、近年目まぐるしく再開発が進んでいるエリアだ。今回はPONAM-31に乗って横浜の海をクルージングし、いつもとは違う視点で横浜の街を観ることにした。心地よい海風を感じながらボートを進めると、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル、よこはまコスモワールド、赤レンガ倉庫など、人気の観光地が次々と視界に入ってくる。海上から観る横浜の街は何にも遮られることもなく、雄大な景観を楽しませてくれる。海上から横浜の街を眺めているだけで、とても贅沢な気持ちになり、非日常の時間を過ごしていることを強く実感できる。



今回の出航場所となったKMC横浜マリーナ。都心からクルマで約30分という好立地にあり、マリクラブやチャータークルーズなど、様々なサービスを提供している。



クラブハウスには洗練された雰囲気漂う。

取材協力

KMC横浜マリーナ

〒230-0053

神奈川県横浜市鶴見区大黒町2-19

TEL:045-504-1094





海上から横浜のシンボルとも言えるヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルを眺める。海上からの景色は遮るものもなく、自分達だけの眺めを楽しめる。



横浜ベイエリアは見所も多く、クルージングスポットとしてもお勧めのエリア。



陸地では人混みや行列の多い横浜みなとみらい地区も海上では自分達だけのプライベートな空間からのんびりと景色を眺めることができる。



海上から赤レンガ倉庫を見学。普段とは異なる場所から観ているだけでも贅沢な気持ちになる。

横浜ベイエリアの中心部に大型ビジターバースが誕生

海上から横浜の街を観ていると、このままどこかに上陸し、何か美味しいものでも食べたいのはもはや自然の流れなのかもしれない。そこで重宝したいのが、横浜みなとみらいの新港ふ頭に今年4月にオープンした「新港8号ビジターバース」だ。こちらはプレジャーボートでも上陸可能で、全長115メートルのバースには水道や100ボルトの陸電も備わるなど、ボートやヨットの受け入れ態勢も万全だ。また、

新港ふ頭には2019年に「横浜ハンマーヘッド」がオープンしており、国際客船ターミナルを中核に、施設内にはトレンドのショップやレストランをはじめ、今回の訪問先となった「InterContinental Yokohama Pier 8」も入っている。横浜の都心部にも近いベイエリアに海からのエントランスができたことで、今後は人気の観光地にも気軽にプレジャーボートで行くことが可能となった。



横浜ベイエリアは少ない移動でも、様々な観光地を巡ることができる。



1. 今年4月から供用開始となった新港8号ビジターバース。全長は115m、水道や100ボルトの陸電も完備されている。2. 着岸時は係員の指示に従い、指定の場所に係留する。離岸時のロープワークは自船で行う必要がある。3. ボートを離れる際は潮の干満を事前に調べ、ロープの長さを調整しておこう。係留バース入口はダイヤルロック式の鍵で管理されている。4. 係留後は必ずハンマーヘッド1Fにある新港ふ頭客船ターミナルで受付を行う。5. ターミナル入口をまっすぐ50mほど進むと受付がある。黄色の看板が目印。

取材協力

横浜ハンマーヘッド 新港8号ビジターバース

TEL:045-264-8519(受付時間10時～17時) 係留の際は要事前予約。
※利用料金(1日): 全長12m未満4,000円、全長12m以上8,000円
※支払いは現金のみ。日付が変わる際は24時間以下の利用でも2日分を計算。





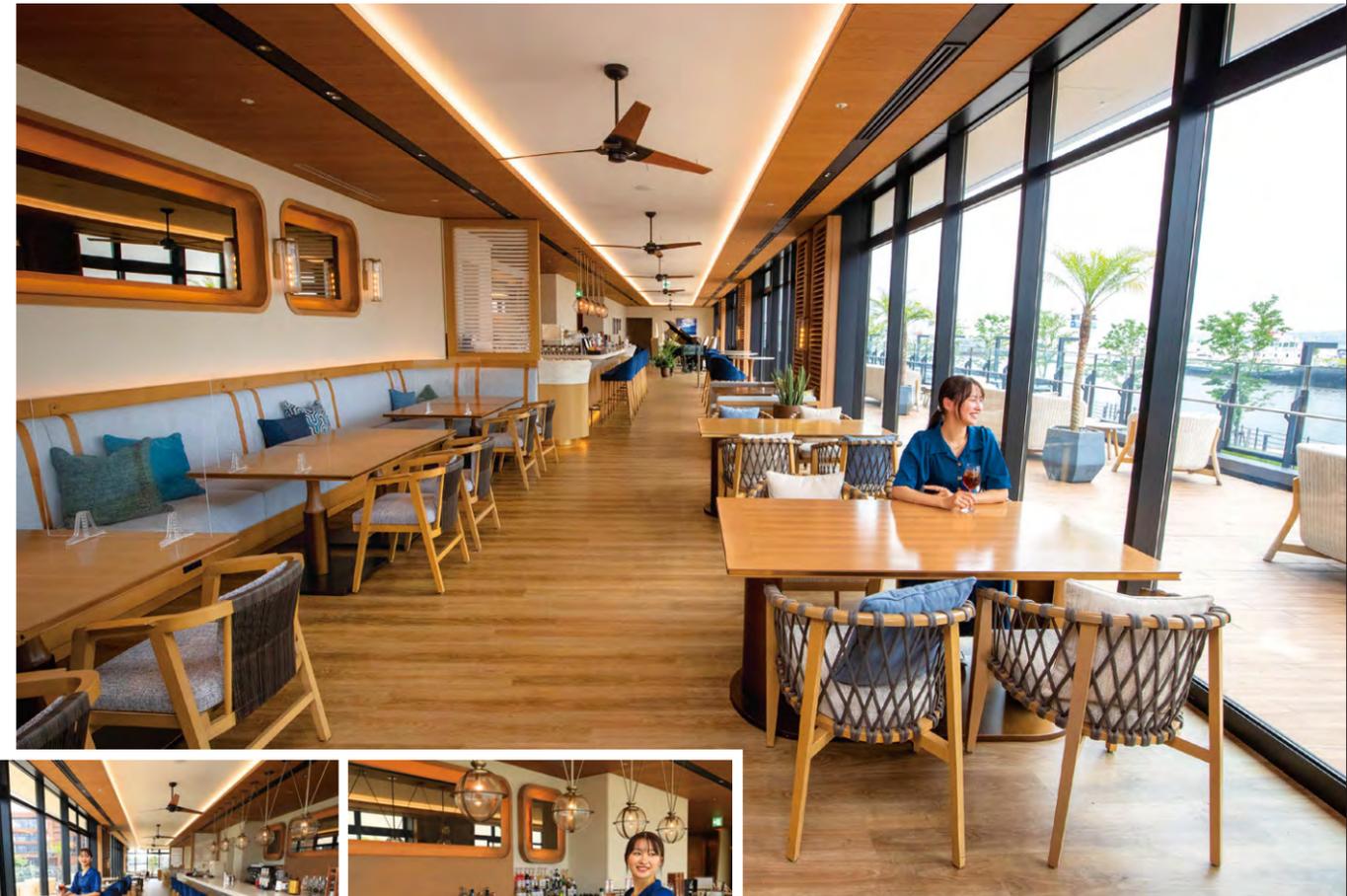
ホテル専用に設けられたエントランスが旅の期待感を高める。

マイボートでアクセスできる 滞在型のリゾートホテル

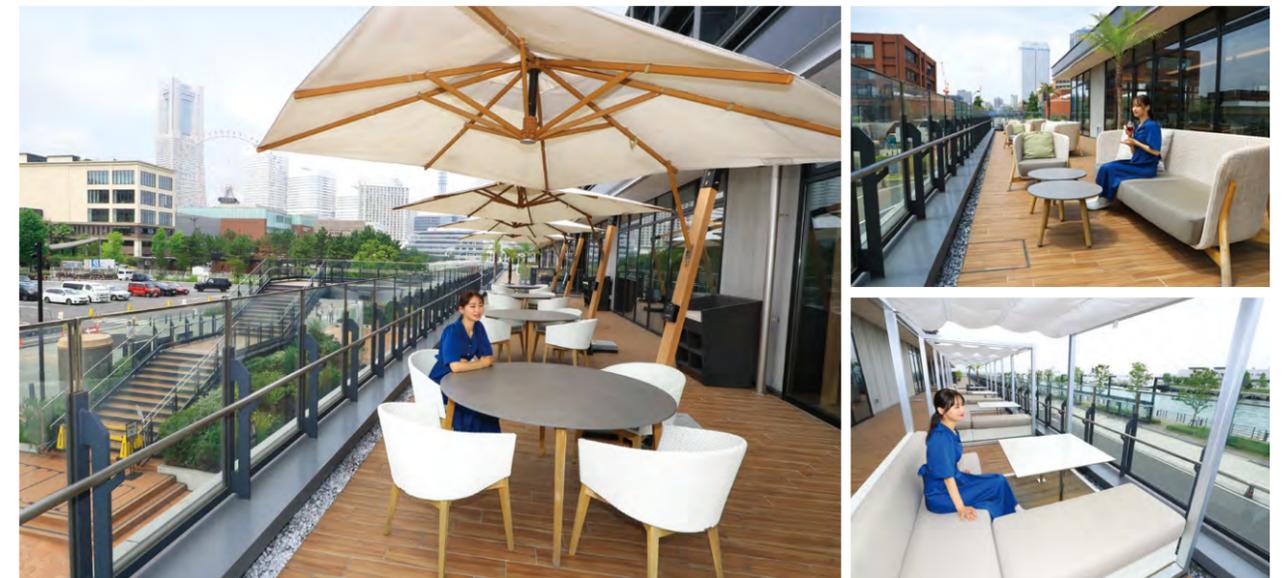
三方を海に囲まれる国内でも希少な海上立地となるホテル「InterContinental Yokohama Pier 8」は2019年10月に開業し、海を間近に感じながら、上質な空間で非日常のステイを楽しませてくれる。優雅でプライベート感のある館内には洗練された雰囲気がい、ここで休日を過ごすことのステータスさえ感じさせてくれる。エントランスにはフロントへと続く螺旋階段があり、照明で美しくライトアップされた姿は来訪客に人気の撮影スポットにもなっている。ホテルは「新港8号ビジターバス」の目の前ということもあり、マイボートで訪れた際のアクセスも抜群だ。また、レストランでは一流のシェフが提案する旬の食材を用いた料理の数々も人気となっており、グルメクルージングの目的地としても、これ以上ない場所と言えるだろう。



エントランスに入ると、美しくライトアップされた螺旋階段が出迎えてくれる。



レストランは時間帯によって様々な雰囲気が演出され、季節感を感じられる旬の食材を楽しめる。



心地よい海風を感じられるテラス席からは海だけでなく、横浜の街も眺められる。非日常を感じられる雰囲気はきっと食事の時間を特別なものにしてくれる。



素材本来の旨味が引き立つ 「ミネラル感」を楽しめる料理

食事をオーダーしたのは海を間近に感じられるレストラン&バー「Larboard」。朝食からバータイムまで、過ごす時間で変わる美しい景色と料理は訪れた人の五感を満たし、西洋と東洋の文化が交差する横浜に着想を得て創作された料理を楽しめる。レストランでは旬の食材の味を最大限に活かすことに加え、海の幸、根菜、山の幸から得られる「ミネラル感」を大切にしており、イタリアン、フレンチ、中華、和の技法などを用いて、旬の食材を一番美味しく食べられる方法で調理してくれる。旬の食材を堪能できる満足感と魚介類や野菜から確かに感じられる「ミネラル感」は日常の



「夏みかんの風味をのせたあおりいかのマリネ
シェリー酢とベルモットの爽やかなジュレ」
シェフの繊細なタッチで美しく盛り付けられた鮮度抜群のアオリイカをさっぱりとした柑橘の香りが包み込む。

喧噪で疲れた体に優しく染み渡り、食事を通じて心や体が癒される新しい食の体験を楽しめる。レストランには開放感溢れるテラス席も用意されているため、心地よい海風を感じながら、シャンパン、フィッシュ&チップス、バーニャカウダなどを堪能できる。マイボートで海上から横浜の街を眺め、上陸した先にあるリゾートホテルで過ごす特別なひとときは、訪れた人に非日常の時間を提供してくれるだろう。ボートに乗って海に出てみよう、きっとこれまで感じたことのない素晴らしい体験があなたを待っている。

LARBOARD



「メバルのソテー 空豆のグリル添え
ペコリーノチーズとフルーツマト添え」
素材の旨味を活かすため、メバルにはあえてソースを加えず、海のミネラル感を感じられる塩とイタリア産の塩味の強いチーズを添えている。



「初夏のアミューズ」
季節ごとに旬の素材を活用し、見た目もスッキリと仕上げられている。1点ずつ彩り鮮やかに並ぶ姿は味覚だけでなく視覚も刺激する。



「旬のフルーツのパルフェ」
メロンの果肉を贅沢に使用したインパクトある見た目にはメロンの果肉の美味しさを1番に楽しんで欲しいというパティシエの思いが込められている。



「InterContinental Yokohama Pier 8」では滞在型リゾートを堪能できる様々な宿泊プランが用意されている。写真はプライベートバルコニーから海と街の景色を一度に楽しめる「コーナースイート」。また、屋上には行き交う船やベイブリッジが目の前に広がる美しい夜景を観ることのできる宿泊者専用のルーフトップも設けられている。

YouTubeで
動画も配信中



YouTube

取材協力

InterContinental Yokohama Pier 8
〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-14-1
TEL:045-307-1111(代表)



muta Marineデザインのラッピングと SeaDekでPONAM-31をドレスアップ



muta Marineが全面プロデュースしたPONAM-31。muta Marineではオーナーの個性を表現できるドレスアップの提案も行っている。

▶美しいダークグレーを基調に 洗練されたデザインのボディ

今回撮影したPONAM-31の外観はダークグレーを基調にラッピングが施されており、両サイドにはインパクトあるmutaロゴを配置。誰もが視線を奪われるラグジュアリーかつ上質なデザインを実現している。特にオーナーが拘ったボートの白い部分を無くすというリクエストを叶えるため、フライブリッジやデッキエリアで

は必要に応じて既に取り付けられていたトマオーニングや部品などを外してからラッピングを施工するなど、細部にまで丁寧にラッピングが施されている。ラッピングカラーやデザインも非常に秀逸だが、同時に職人の拘りと高い技術力も感じることができた。船底はラッピングしたカラーと合うよう、塗料を調色して自然な仕上が

りを実現しており、肉眼で繋ぎ目を見ても違和感は全く感じない。マイボートにラッピングを行うことはデザインによって個性を表現できるだけでなく、船体を傷や汚れから保護することにもつながるのである。また、ラッピングを剥がす際は塗装とは比較にならないほど作業もスムーズに行うことが可能だ。

取材協力

HASSIN
〒474-0061 愛知県大府市共和町3丁目8-9
TEL:0562-48-8811



「自分だけの特別なスタイルでポーターに乗りたい。」オーナーのそんなリクエストから始まったPONAM-31のカスタム計画。外観をデザインするなかで拘ったのは「ボートの白い部分を無くしたい。」というオーナーの思い。外観にはmuta Marineがオリジナルでデザインしたラッピングを纏い、デッキエリアにはEVAマット「SeaDek(シーデック)」を採用するなど、オーナーの拘りが詰まった魅力的な1艇に仕上げられている。muta Marineが全面的にプロデュースし、お洒落なラッピングとSeaDekでラグジュアリーなテイストにドレスアップされたPONAM-31をご紹介します。



ラッピング作業は6人で4日間かけて実施。細部まで非常に丁寧に施工されている。



船底部分と一部ラッピングできない箇所は塗装を行なっているが、ラッピングシートと同様の見た目になるよう塗料を調色しており、違和感を感じない。

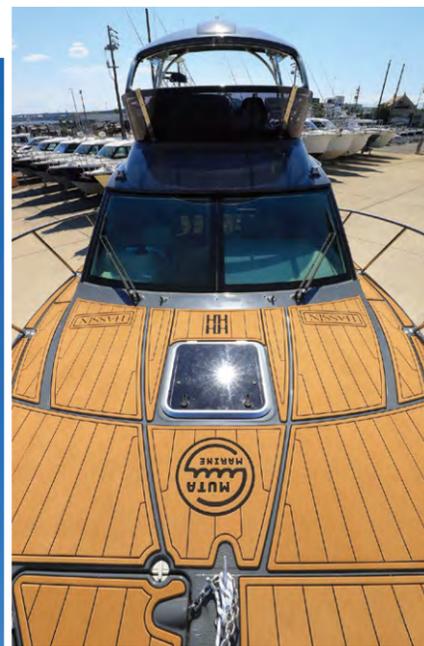


1. 施工前にはトマオーニングも取り外すなど、徹底的に白い部分が見えないようラッピングしている。2. トマオーニングも完全にラッピングしたことで、従来のホワイトからダークグレーに姿を変えている。3. フライブリッジの足元にもSeaDekを施工している。4. カスタムに掛かった期間はトータルで約1ヶ月半。これだけのカスタムにも関わらず、非常にスムーズな印象だ。

取材協力

muta JAPAN 株式会社
TEL:03-6721-0347





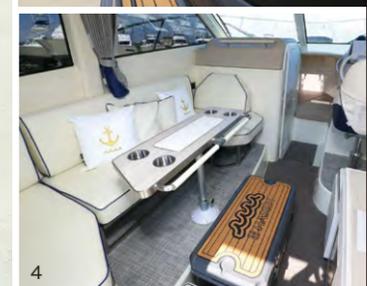
正確な採寸に基づいて製作されるため、仕上がり面も非常に綺麗な。

デッキエリアにはEVAマットSeaDekを施工。SeaDekは三重県いなべ市にあるリガーマリンエンジニアリングが国内に幅広く展開するボート用デッキ素材。同社は日本で唯一の認定加工業者として、採寸、デザイン、カット、施工まで行うことができる。

取材協力

株式会社リガーマリンエンジニアリング

〒511-0283 三重県いなべ市大安町南金井1732番地
TEL:0594-87-0200



1. アフトデッキ一面に施工されたSeaDekはデザイン性も高く、自分の個性を表現できるカスタムツールとして、マリン業界内外からも大きな注目を集めている。
2. ブラウンカラーを基調にしたSeaDekにmutaのロゴが配置され、全体的にラグジュアリーな雰囲気演出されている。
3. SeaDekは濡れても滑りにくいため、パウへの移動もしやすい。
4. 今後はサロン内でシート関係のカスタムを予定している。

▶ デッキエリアで存在感を放つ EVAマット「SeaDek」

デッキエリアに施工されたのはEVAマットでは世界的なシェアを誇るSeaDek。様々な厚さ、カラー、表面のフィニッシュ、切削加工、レーザーパターン加工など、高いデザイン性が魅力で、近年多くのボートオーナーからも支持されるボート用デッキ素材だ。今回はオーナーの要望を確認した上で、イメージに最適なブラウンカラーを選択しており、mutaロゴなどをSeaDekに配置することで非常にお洒落なデッキレイアウトを実現して

いる。デッキエリアを自分好みにカスタムすることで、ボートで海に出るときには高い満足感を感じながら船内に乗り込むことができるだろう。また、SeaDekはクルージングのシーンではクッション性の高さで疲労感を低減してくれるだけでなく、濡れても滑りにくい安全性の高さも持ち合わせており、快適かつ安全にマリンレジャーを楽しめる。昨今ではマイボートにラッピングやSeaDekを施工し、自分の好きなデザインにボートをカスタムすることで、自分の個性をボートでも表現するオーナーが増えてきた。自分だけの特別なスタイルにドレスアップしたポーナムはいつもより少し贅沢な気持ちで海を楽しませてくれそうだ。



5. 撮影場所となったNTPマリーナりんくう。70ft(24m)クラスの大型艇を4隻同時に収容できるサービスセンターも完備し、艀装やレストアにも力を入れている。
6. 船底部分の塗装はラッピングのシートカラーに合わせて塗料を調色しており、塗装技術も非常に高い。
7. 陸上ヤードにはポーナムシリーズが多数艇置されていた。販売実績も豊富なため、メンテナンスやレストアはもちろん、今回のようなカスタム依頼にも幅広く対応してくれる。

取材協力

NTP名古屋トヨペット株式会社 NTPマリーナりんくう

〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3丁目6-1 TEL:0569-35-7200



普段の釣りを2倍楽しくする方法

釣りとランチクルーズを1日で楽しんでみよう

今回は日頃からPONAM-31で釣りを楽しむ橋本節生オーナーとタレントの伊丹 章さんが旬のシロアマダイを狙った釣りに挑戦。この日は1日中釣りをする予定はあえて組まず、午前中は釣り、午後からはマイボートで行ける海上BBQを予約。普段とは違うスタイルで遊ぶ1日にはどんな発見があるのか。PONAM-31で釣りランチクルーズを1日で楽しむ贅沢な休日が始まった。



超高級魚シロアマダイを狙って和歌山マリーナシティヨット倶楽部から出航。今回は釣りだけでなく、お昼には海上BBQを事前に予約するなど、新しい遊び方にチャレンジした。



アフタデッキで伊丹さんのレクチャーを受けた橋本オーナー。釣りの際は巻くスピードや仕掛けを色々試しつつ、笑顔で釣りを楽しんでいた。



気持ちよさそうにPONAM-31を操船する橋本オーナー。

バーチャルスバンカーモードを使用し、船首が常に風上に向くよう自動で制御。伊丹さんが潮の方向や速さを確認し、ボートが流される方向や速度をトヨタマリンスタッフにリクエストしていた。

1匹数万円の超高級魚シロアマダイを狙うも...

今回の釣りでターゲットとなったシロアマダイはアマダイのなかでも特に市場価値が高く、1匹数万円の値がつくこともある超高級魚だ。そんなシロアマダイの釣り方は真鯛を狙う時に使用するタイラバを海底に落とし、ゆっくりと巻き上げるだけという、非常にシンプルなスタイル。6月の撮影時は和歌山県の紀北エリアでよく釣れていたこともあり、この日は和歌山マリーナシティヨット倶楽部から出航。PONAM-31に乗ってシロアマダイを狙った釣りをスタート。前日までの釣果はまずまずだったので、この日は周りの船を含めて全体的に非常に渋い状況。橋本オーナーと伊丹さんの2人はシロアマダイを掛けるため、タイラバを巻くスピード、重さ、カラーなど、色々試してはみるものの、

なかなか竿にアタリがこない。伊丹さんの丁寧で分かりやすいレクチャーもあり、釣れそうな雰囲気はプンプンしているのだが、どうしても魚がアタックしてこない。こうなるとプロでもお手上げだ。釣りは自然が相手ということもあり、釣れる日もあれば、当然釣れない日もある。だからこそ釣りは奥が深く面白い。途中、ポイントが友ヶ島沖に変更し、スーパーライトジギングで何とか他の魚の確保も試みたが、この日は本当に海況が渋く、ハマチや根魚もヒットしてこない。午前中と決めていた釣りは結果的には期待していた釣果ではなかったが、ポイントや仕掛けを変えながら魚を探す作業はワクワク感があり、面白いものである。また、伊丹章さんと一緒に釣りをしたことで、タイラバやスーパーライトジギングについて、実釣形式での意見交換や様々なアドバイスを貰うこともできていたため、橋本オーナーにとっても有意義な時間となったのではないだろうか。今回はお昼に美味しいBBQを予約してあるため、気持ちを切り替え、ここで釣りを終えることにした。

時折真剣な表情でシロアマダイに誘いを掛ける橋本オーナー。日頃からPONAM-31でクルージングや釣りを楽しむ「生粋の海の男」という表現がピッタリの方であった。

シロアマダイを釣るコツを軽快なトークを交えて話してくれたタレントの伊丹章さん。釣りのアドバイスはとてもの確で、分かりやすい。



ボートに乗って釣りをする際には自分の好きな釣りや試してみたい釣り方に積極的にチャレンジして欲しい。この日はタイラバにオキアミ、イカの切り身、ワームなどを付けたり、天秤にオキアミをセットするなど、様々な方法でシロアマダイに誘いをかけていた。

取材協力

和歌山マリーナシティ ヨット倶楽部
〒641-0014 和歌山県和歌山市毛見1516番地
和歌山マリーナシティ内 TEL:073-448-0033



1. サロンにはテレビや冷蔵庫が備わり暑い日でも非常に快適な空間となっていた。2. 天井部分には様々なタイプのロッドを収納しており、橋本オーナーの釣りに対する拘りを感じた。3. ギャレーにはIHクッキングヒーターも設置されていた。4. サロン入口上部にはGPS魚探やスピーカーを設置。高音質の音楽を楽しみつつ、海底の地形や魚群をチェックすることもできる。5. サロンの左舷側にあるスペースをカスタムし、冷蔵庫を装備している。これでクーラーボックスがなくても飲料などを大量に冷やすことができる。



マイボートでアクセス可能な「Grill Cafe Excellent」。
ピジター棧橋を完備しており、海上からの利用客も多い。



ルーフトッパーでの海上BBQは開放感も抜群だ。※通常は自分たちで焼く必要あり。



炭火とお肉の焼ける香りが何とも食欲をそそる。



「ROOF TOP BBQ」
牛サーロインステーキ150gをはじめ、お店自慢の肉や素材を使った豪華なBBQメニュー。



「YAKINIKU BBQ」
上塩タン、上ハラミなど、絶品の牛肉を堪能できるこちらも非常に贅沢なBBQメニュー。

マイボートでアクセス可能 海上で食べる絶品のBBQ

釣りを終えた後はいよいよランチタイムのはじまりだ。訪れたのは大阪府泉北郡忠岡町にある「Grill Cafe Excellent」。ここはマイボートでアクセス可能なピジター棧橋を兼ね備えており、ランチを食べにボートや水上バイクに乗って海上からお店を訪れる人も多い。今回の釣りのポイントからはPONAM-31でのクルージングを楽しむのに程よい距離感もあり、お店に向かう道中には最高の天気なのか爽快なクルージングも楽しむことができた。BBQ会場となったのはお店の屋上エリアで、心地よい潮風に包まれるルーフトッパー。こちらでは開放感抜群のロケーションで、絶品のBBQを堪能することができる。係留したマイボートや屋上からの景観を眺めながらの食事は、非日常の贅沢なランチタイムを楽しませてくれる。終日マイボートに乗って釣りに没頭するのも決して悪くはないが、釣りはスパッと午前中で切り上げ、ランチタイムに美味しいBBQを楽しむのも意外とアリなのかもしれない。マイボートで美味しい食事を食べに行くことは釣行後に陸地で行う打上げとは少し違い、ボートで美味しい食事を食べにお店に向かうワクワク感も感じられ、遊びの幅を大きく広げることができる。海遊びの魅力が1日に凝縮されたこの遊び方、ぜひ多くの人に試してもらいたいと思う。

YouTubeで
動画も配信中



YouTube



ルーフトッパーに設けられたテーブルにて、ノンアルコールビールで乾杯。



橋本オーナーも抜群のロケーションで食べるBBQに大満足の様子。



食事の際には午前中の釣りの話題でテーブルは終始盛り上がりっぱなし。



午前中の釣りですっかり打ち解けた様子の橋本オーナーと伊丹さん。伊丹さんは最後まで釣果が無かったことを気に掛けていたが、こればかりは自然相手なので仕方がない。楽しい雰囲気での釣りの魅力を伝えてくれたことで、きっと橋本オーナーにも釣りの面白さを再認識して頂けたと思う。



今回の昼食場所となった大阪府泉北郡忠岡町の「Grill Cafe Excellent」。2Fエリアでは時間帯に応じてカフェや焼肉を楽しめる。



Grill Cafe Excellent

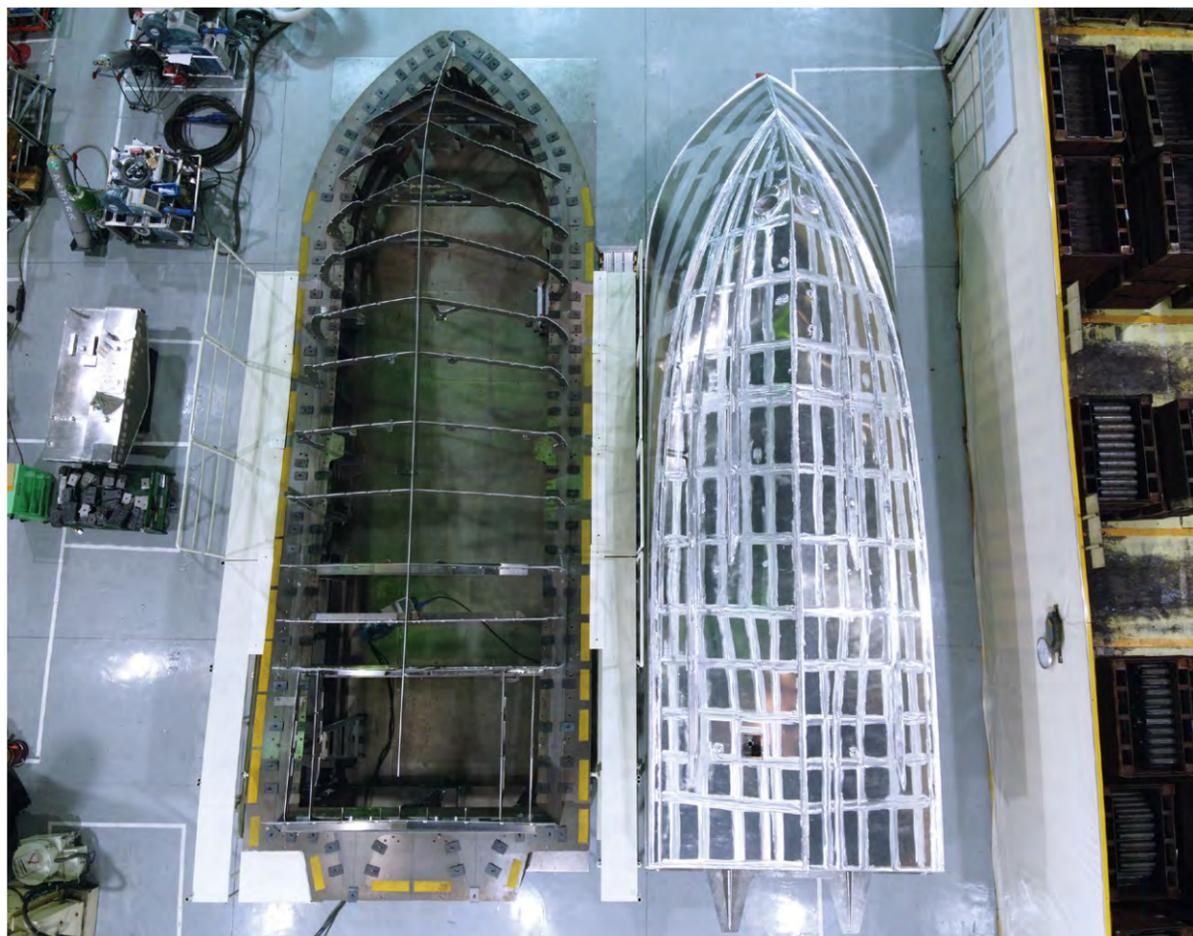
取材協力

Grill Cafe Excellent
〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜2-5-8 TEL:072-433-0333
Cafe Time 11:00~14:00 Dinner Time 17:00~22:00



トヨタ自動車本社工場でもアルミハルを生産へ アルミハル内製化までのプロセスに迫る

トヨタマリンでは新艇の供給体制を少しでも加速させるべく、本社工場でもアルミハルを生産するプロジェクトをスタートさせた。本社工場は新しいモノを造るフェーズイン工場として、新規事業にも積極的に力を入れており、高度なアルミ溶接技能を伴うアルミハルの生産プロジェクトにも快くチャレンジしてくれた。今回は本社工場鍛造部とモノづくりエンジニアリング部の皆さんにインタビューし、アルミハルをトヨタ自動車本社工場で生産するまでの道のりをお伺いした。



本社工場で生産されたPONAM-31のアルミハル。右が完成して出荷待ちのもの。左はフレームの取り付けまでが完了している。

「はじめに、アルミハルをトヨタ自動車社内で生産することになったきっかけを教えてください。」

石田さん「お客様を二年近くお待たせしていることを知って、一日でも早くお客様にお届けするため、内製で何か貢献できることは無いかと考え、PONAMの生産委託先のニュージャパンマリン(以下NJM)様で、製作に時間がかかるアルミハルをトヨタ内製でもできるかどうかを

検討するところからはじまりました。」

「トヨタ自動車社内でアルミハルの生産を計画するにあたり、最初に取り組んだことは何でしょうか？」

押川さん「内製化にあたりまず真宝工場で標準化に向けての試作を製作、この製作を通して作業の手順、カンコツ作業の明確化、TMCでも独自の品質基準を作成し、ある程度手の内化ができた時点で

で号口を製作しました。その後、今後の量産化に向けて、製作を本社工場に移管する作業を行っています。NJM様は職人の方の経験に基づいた技能で造られていたので、まず現地に言って工程を徹底的に調査しました。現地に何度も行きたかったのですが、コロナ禍で何度も行けなため、NJM様の職人さんとのコミュニケーションはとても大切にしました。また、無理を言ってライブカメラを設置させて頂き、録画して何度も見ること



インタビューに応じて下さった本社工場鍛造部の榎垣部長。「アルミの溶接技能」を習得することで、次のビジネスチャンスについても日々検討している。

本社工場は新しいモノを造るフェーズイン工場です。アルミ溶接技能の手の内化により、新たなビジネスチャンスも見えてきます。我々鍛造部としても、ぜひ本社工場でのアルミハルの生産にチャレンジしたいと思いました。

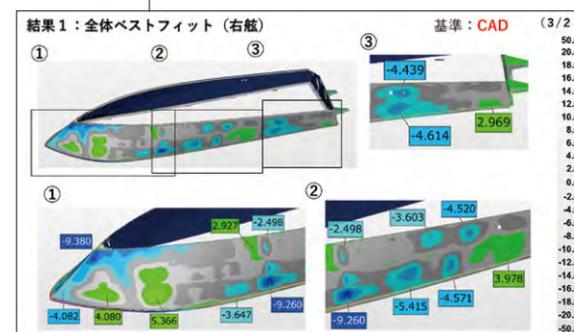
本社工場鍛造部 榎垣 周司 部長



本社工場で生産されたアルミハルも高い品質を確保している。



アルミハルの凹凸を測定できる機材を使用し、カメラでアルミハルをスキャンし、凹凸の有無を確認している。凹凸がある場合は画面上にグラデーションで表示される。



で生産に必要な作業マニュアルを作成しました。」

「本社工場でアルミハルの量産化を行う話があった時はどのように思いましたか？」

榎垣部長「本社工場は新しいモノを造るフェーズイン工場の位置づけです。アルミマテリアルセンターを目指すなかで、アルミ溶接技能の手の内化、ハルを製作することで得られる新たな技能は業務の幅を広げることに繋がると思いました。また、新しいことにチャレンジするという現場のニーズにもマッチしていたので、我々鍛造部としてもぜひチャレンジしたいと思いました。」

「アルミハルの生産は自動車の生産方法とは全く異なりますが、量産化にあたり本社工場ではどんなことに苦労されましたか？また、今回のような新しい試みでは今までのやり方ではできないこともあるかと思えます。どのような工夫をされましたか？」

榎垣部長「アルミハルの生産は一日に何万個も造る大量生産のモノ造りと異なり、2ヶ月に1隻の長期的なモノ造りです。その中で、作業の成否確認や標準作業の確立にはとても苦労しました。また、アルミ溶接の技能も非常に難しく、大変苦労した部分です。こうした点については日々の鍛錬による技能の習得に加えて、組立て支援システム・3Dスキャン等のデジタルを活用することで、品質を確保することができました。また、車と違って、お客様の使われ方もイメージし辛かったため、PONAMへの試乗や完成艇のシーチェックにも参加しました。」

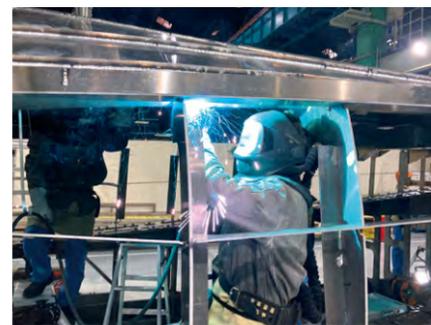
押川さん「アルミ溶接は巧の技で量産に必要な海事協会の資格取得には、2ヶ月の練習を重ねて取り組みました。船は見栄えが非常に大事ですが、アルミ溶接は歪みやすく、職人さんの感性と技能に近づくことには非常に苦労しました。そこでハルの凹凸を3D画像で確認することでどこに歪みがあるかを正確に把握するなどし、職人さんのスキルをデジタル面で補うことで、高い品質を確保することができました。」



アルミハルを内側から撮影。職人が熟練の技で行う作業精度に少しでも追いつくため、デジタル技術を活用することで、職人との経験の差を埋めている。



船外溶接作業の様子。溶接の際には高所作業用の機材も使用している。



船内溶接作業の様子。非常に高度かつ特殊な技能のため、新たなビジネスチャンスに向けて、更なる技能向上を目指している。

—生産にあたり、クルマで採用されているTPSなどの生産方式は採用しているのでしょうか？

半田さん「モノと情報の流れ図で仕掛りのタイミングに合わせて部品の発注タイミング等を決めており、極力在庫を持たないように心掛けています。ハル製作は100%手作業の為、人が効率的に作業を進められる様、台車の順建、モノの置き場や配置の効率化、人の流れの管理、作業実績の管理ボード作成など、「より早く」、「より安く」作業ができるよう、少しでも無駄が発生しない環境を作っています。」

—トヨタ自動車社内でアルミハルを生産するにあたり、最もこだわった部分を教えてください。

半田さん「一番は安心安全なものづくりです。お客さまの安心安全は『品質』、つまり良いアルミハルをお渡しすることです。それに加えて、我々造り手も『安全』をしっかりと確保して作業をしていないと話になりません。この二つは絶対条件で、成立しないと良いアルミハルを生産することも、良い作業も出来ません。お客様と我々、それぞれの目線で安心安全をしっかりと心掛けて日々作業を行なっています。」

—プロジェクト開始から実際に最初のアルミハルが完成するまで、期間はどのくらいでしたか？

押川さん「プロジェクトがキックオフしてから、様々な準備と2隻のトライを含めて、品質について満足できる船ができるまで、約14ヶ月かかりました。」

—本社工場でアルミハルを生産することで、今後どんなことが期待されていますか？また、周囲の反応はどんな感じですか？

桧垣部長「NJM様と情報交換を行うなかで、トヨタ・NJM様の双方で改善が進み、更なる品質向上やリードタイムの短縮を実現したいと思っています。また、アルミハル製作で得たアルミ溶接技能は車づくりでも活かされ、強みとなるのではないのでしょうか。こうした活動は社内でも様々な部門から興味を持って頂き、部を超えた協力を頂いています。」

—今後も自動車以外の分野にも積極的にトライをしていくのでしょうか？

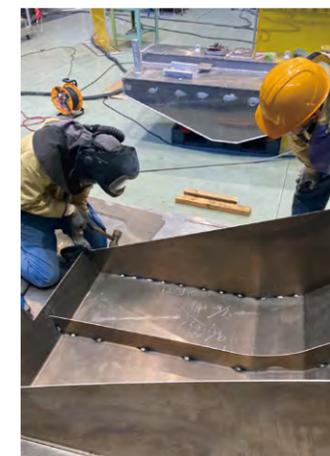
桧垣部長「自動車業界は100年に一度の大変革の時代と言われています。我々もアルミ溶接の更なる技能向上を目指すなかで、「アルミの溶接技能」をキーワードに次のビジネスに拡大できるチャンスについても日々検討しています。今後は本社工場のなかでも、部の垣根を超えて新しい事業にも積極的にトライしていきたいと思っています。」



コロナ禍ということもあり、ライブカメラを通じて作業の手順マニュアルを構築。職人とのコミュニケーションを密に取り、繊細な技能を丁寧に教えて頂くことで、一つずつ製作手順をマニュアルに落とし込んでいった。



生産の現場では人が効率的に作業を進められる様、台車の順建、モノの置き場や配置の効率化が徹底されている。



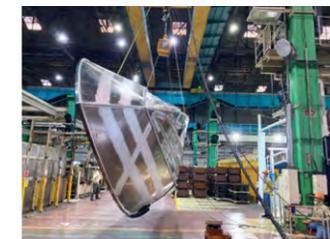
アルミ溶接技能を習得するなかで、本社工場ではPONAMIに搭載しているアルミ燃料タンクも生産している。



現場には担当者や作業項目などを正確に管理する日程表が掲示されている。



作業開始前にはモニターで当日行う予定の作業を3Dモデルで確認。設計図を紙面で確認するよりも分かりやすいため、作業内容の理解を深めることができる。



本社工場の設備を活用し、反転作業なども効率よく行われている。

一日でも早くポートをお客様にお届けするため、アルミハルをトヨタで内製できないかを検討しました。
モノづくりエンジニアリング部 石田 岳史さん

一番は安心安全なものづくりです。お客様のための「品質」と我々造り手の「安全」を両立し、高品質のアルミハルを生産しています。
本社工場鍛造部 半田 幸治さん

職人さんの感性と技能で成り立つ部分については3D計測などのデジタルを活用することで、高い品質を確保しました。
モノづくりエンジニアリング部 押川 勝利さん



左から今回取材にご協力頂いた石田さん、半田さん、押川さん。トヨタ自動車本社工場でも高品質のアルミハルを生産できるよう、生産マニュアルの構築を含め一から量産体制を構築した。

生産までの流れ

▶ フレーム単品組付



▶ ガンネルにフレーム取り付け



▶ 船底取り付け



▶ 船側取り付け



▶ 船内部品取り付け



▶ 射水試験



トヨタマリンのサービス部門が、大切に安全・安心への想いとは

トヨタマリンでは全国に約50社の販売店及び約80社のサービス店と契約を結び、幅広いエリアでオーナーをサポートする体制が整えられている。また、いつでも安全・安心にマリンライフを楽しんでもらうため、定期点検・整備の重要性はもちろん、日常で感じた「小さな違和感」に早く対応することの大切さについて語ってもらった。ここでは、トヨタマリンのサービス部門が考える安全・安心への想いについて紹介しよう。

一番大事にしていることは不具合の未然防止です。「小さな違和感」にも目を向けていただく事が大切です。



トヨタ自動車 マリン事業室
トヨタマリン営業所 西田 健一

サービス部門の主な業務内容とは？

西田 「主な業務内容としては、船の定期点検・整備、補給部品の供給サポート、試乗会での運営サポート、販売店と連携したサービスへの取組みなどを行っています。基本的に販売店が主体となって定期点検・整備などを実施していますので、問合せに対するアドバイスなどのサポートを行っています。メーカーとしては、仕入先とネットワークを構築し、滞りなく補給部品を供給できるよう在庫管理などの徹底を図っています。近い将来は販売店、仕入先を含め、一気通貫してサービス業務をより効率化できるようデジタルトランスフォーメーションなども検討しています。」

安全・安心に対する考え方を教えてください。

西田 「一番大事にしていることは不具合の未然防止です。船も人と同じように、いつもと調子が違うなど「小さな違和感」を感じたら、しっかりとそこに目を向けて



トヨタマリンが大切に安全安心への想いについて、分かりやすく説明してくれたサービス部門責任者の西田 健一(左)とサービスチーフの平井 克史(右)。

いただく事が大切だと考えています。些細な事でも構いませんので、マリーナの担当者様に状況を説明し、船の状態を確認してもらおうことをお勧めします。調子が良くても健康診断のように定期点検・整備をする事で、故障の未然防止につながります。調子の悪い箇所を早期に発見できれば、修理が簡単に済むことが多いと感じています。」

全国の販売店やサービス店との連携はどのような体制ですか？

西田 「トヨタマリンでは全国に約50社の販売店と約80社のサービス店と契約を結んでいます。現在はコロナ禍の影響もあり、開催できておりませんが、新艇やモデルチェンジ艇が発売される前には新商品や新技術等の説明会や、愛知県蒲郡市にあるサービス工場エンジンやドライブの分解及び組付作業などの講習会を行うなど、協力体制を構築しながら、技術研鑽に努めています。」

メーカーとしてサービス部門と開発部門が連携するシーンはありますか？

西田 「開発部門だけではなく、すべての部門と連携ができています。私はトヨタマリン開発部門で約10年間、ポーナムシ

リーズの開発・設計に携わってきました。また、前職では国土交通省海事局で船舶検査官の経験もあります。もともとトヨタマリンでは、点検整備や修理情報は病院のカルテのようにデータベース化されていたので、今までの経験を活かし、既存の仕組みから組織の壁を越えて全員で情報共有できる仕組みに発展させ、現在ではタイムリーな設計変更や製造品質向上に結び付けています。また、トヨタでは現地現物を大事にしていますので、積極的に現場に足を運び、販売店のサービス担当者様や、時には、直接オーナー様と会話をさせていただく事によって、多くの「気づき」を得られています。こうして現場から得られた貴重な「気づき」を開発だけではなく他部門のメンバーとも共有し、安心してマリンライフを楽しんでいただけるよう商品力や品質のさらなる向上につなげています。」

オプションの後付けやカスタムなどの要望はありますか？

西田 「TDSやTVASなど、トヨタマリンで独自に開発した操船支援システムの発売前に購入されたオーナー様や、中古で購入され、オプションが搭載されていない船のオーナー様から、後付けに関するたくさんのご要望を頂きました。また、自動



現場から得られた点検整備や修理の情報を社内と共有することで、設計や製造品質の向上にもつなげている。

離着岸など安全・安心に貢献できる新技術をより多く使ってもらいたいと思います。試行錯誤を重ねた結果、現在では後付けオプションとして搭載が可能となっています。具体的にはPONAM-31、PONAM-35へのTDS、PONAM-31へのアフターステーション(3rd.リモコン)、PONAM28Vへの1軸TVASなどがあげられます。この記事を読んで興味がありましたら、最寄りの販売店に是非、お問い合わせください。(ホームページに一覧表が掲載されています。)他社艇には対応していませんのでご注意ください。」

サービス部門として特に大切にしていることは何ですか？

西田 「特に大切にしていることは、販売店、サービス店をはじめ、マリーナ、仕入先などマリン業界の皆様との信頼関係だと思っています。オーナー様には業界全体でしっかりとバックアップ体制があることをご理解いただき、安心してマリンライフを楽しんでいただきたいと思います。トヨタマリンとしては、期待以上のサービスを提供できるよう日々、商品力、技術力、品質向上に努めていきます。」

ポーナムシリーズの購入を検討中の方に何か伝えたいことはありますか？

西田 「安心してマリンライフを楽しんでいただくため、今後は、船のエンジンやセキュリティー情報などをつなげるコネクティッドの導入を考えています。また、販売店、サービス店、仕入先と連携し、タイムリーなサービスの提供など、お客様の笑顔の為に、これからも進化を続けていきたいと思っています。ポーナムを通して海を愛し、船を好きになってもらえると嬉しく思います。」

30年近く様々なタイプの船を整備してきましたが、トヨタの船は圧倒的に故障が少ないです。



トヨタ自動車 マリン事業室
トヨタマリン営業所 サービスチーフ 平井 克史

現在担当している業務内容をご紹介します。

平井 「担当する西日本エリアで、オーナー様への有償修理やメーカー保証期間内による無償修理、マリーナからのサービスに関わる問い合わせ対応を行っています。点検の際にはエンジンとPCを繋ぎ、あらゆる数値に異常が出ていないかを確認し、不具合が見つかった際にはマリーナの担当者様にも現状を丁寧に説明し、一緒に不具合の解決に向けて取り組んでいます。他には試乗会にもお伺いし、お客様にサービス面に関するご説明をさせていただいています。」

一日々サービスマンとしてポーナムと向き合うなかで、1番大切にしていることはありますか？

平井 「関わる全ての人との信頼関係を一番大切にしています。オーナー様のご要望をしっかりと聞き、最適なメンテナンスをご提案できるよう心がけています。また、マリーナの担当者様からの問い合わせに対しては、的確なアドバイスを行わせていただくことで、日々信頼関係を築いていくことを心掛けています。」

サービスマンとしてやりがいを感じるのとはどんなときですか？

平井 「オーナー様、マリーナの担当者様から「ありがとう」という感謝の言葉をいただけたときです。この言葉を聞くと、様々な問題を解決してきた苦勞も一瞬で報われます。この言葉を支えに仕事をしている気がします。」

ポーナムを長く乗り続けるために、オーナーの方が日頃からできることはありますか？

平井 「装備品などは日頃から動かしておくことが大切です。また、意識してエンジン音を聞いておくことも大切だと思いま

す。船に乗る際には苦痛でなければ普段から五感を研ぎ澄ましておくと、エンジン音の変化など、小さな異変にも気が付くことができるかもしれません。船に乗っていて気が付いた異変はこまめに解消しておく。これがいい状態で長く船に乗るコツだと思います。」

出航前の点検は主にどんな部分をチェックすればいいですか？

平井 「エンジンオイルや冷却水の量が規定より入っているかなど、ボート免許取得講習でもやったような出航前点検がいいと思います。他にもエンジンルームのなかに水が溜まっていないかなど、自分で見られる部分だけでもしっかりと見ておくことで、大きなトラブルを回避するきっかけになると思います。」

サービスマンとして感じるポーナムシリーズの魅力とはどんな部分でしょうか？

平井 「前職を含めて、30年近く様々なメーカーの船を整備してきましたが、トヨタの船は圧倒的に故障が少ないと思います。エンジンを見ても、一つ一つの部品や仕組みの完成度が非常に高いです。」



エンジンの状況を正確に把握するため、パソコンとエンジンを繋ぎ、様々な項目で異常値が検出されないかを点検している。普段から使用する工具類は丁寧にメンテナンスし、専用の工具バッグに収納している。



現場では風通しのよいコミュニケーションが行われ、雰囲気はとても良い。マリンが好きで集まったトヨタマリンのメンバーが一丸となり、オーナーの笑顔の為、日々の業務に取り組んでいる。

ポーナムシリーズ試乗会レポート 「乗っていて楽しい」、「近未来的なデザイン」、 来場者が口々に語ったポーナムの魅力とは

5月14日(土)～15日(日)、岡山県にある宮浦マリーナで開催された「岡山マリンボートフェア」にトヨタマリンがPONAM-31を出品。トヨタマリンの人気モデルは来場者からどんな評価を受けるのか。今回も試乗直後の来場者にPONAM-31に乗って感じたことをインタビュー。来場者の口から語られた「生の声」をお届けしよう。



OKAYAMA MARINE BOAT FAIR



1. 岡山県にある宮浦マリーナで開催された「岡山マリンボートフェア」にPONAM-31を出品。2. 海上には各社の人気モデルが並び、来場者にそれぞれの魅力をアピールしていた。3. 陸上ブースも設置され、試乗受付や用品展示が行われていた。4. PONAM-31は試乗した来場者から高い評価を得ていた。5. 試乗人数の制限、アルコール消毒、マスク着用など、感染症対策が徹底されていた。6. イベント当日は小さな子供達も来場しており、操船席からの開放的な景色を楽しんでいた。7. こうした特別な体験が、将来自分たちもボートに乗って海で遊びたいと思うきっかけになって欲しい。



岡山マリンが運営する宮浦マリーナ。3連クレーンプラス1基の全4基のクレーンを完備。最大サイズ63ftまで揚降可能。



マリーナ岡山を海上の試乗艇から見学。こちらも同社の運営となっている。



取材協力 | 岡山マリン、ボートセンター 宮浦マリーナ 〒702-8014 岡山県岡山市南区宮浦字大浜681-1 TEL:086-267-3939

聞こえてきたのは「走りの楽しさ」を絶賛する声

トヨタマリンのPONAM-31は「スピード」「乗り心地」「居住性」の全てにこだわり抜いたクルーザーで、抜群の走行性能を実現しつつ、高い安定性能を持ち合わせるスポーツユーティリティクルーザーだ。そんなPONAM-31に試乗した来場者に現場でインタビューすると、口を揃えて語ってくれたのが、「乗っていて楽しい」という言葉。それはトヨタマリンがマリン事業を開始して以降、徹底的に拘ってきた「走り」を賞賛する声で

あった。もちろん、トヨタらしい洗練されたデザインに惹かれたという声や、TVAS、TDSの精度に驚いたという技術力を評価する声も聞こえてきたが、今回の試乗会に関しては圧倒的に走行性能を評価する声が多かった。走りの楽しさに拘り続けるトヨタマリンが目指す、海における「Fun to Drive」。今回の試乗会ではそのコンセプトが確実に来場者にも伝わっていたことを実感することができた。



乗り心地が最高でした。内装も豪華でビックリしました。まるで家が動いているようでした。



ポーナムの乗り味を楽しめました。フライブリッジからの景色も最高です。購入候補の1つになりました。クルマが「トヨタ派」なので、今回の試乗を楽しみにしていましたが、まるでクルマの車庫入れのように、ボートが着岸をサポートしてくれたことに感動しました。

近未来的なデザインを見て、さすがトヨタだなと思いました。他社とはデザインが全然違いました。バーチャルアンカーなどのシステムも体験しましたが、トヨタの技術に驚きました。凄い機能だと思います。ボートの揺れが少なく、安定していたので、乗っていてとても楽しかったです。設備も豪華でとても快適でした。



トヨタらしくカッコよく、楽しく、気持ちよかったです。



こんなに速く走るとは思っていなかったので、ビックリしました。乗り味が良く、乗っていてとても快適でした。内装もすごく豪華でした。



乗っていて想像以上に速くて楽しかったです。走行中は安定感があり、とても気持ちよく乗ることができました。



トヨタマリン主催・参加の試乗会情報はHPや各種SNSでも発信中



ホームページ



Instagram



Twitter

湘南サニーサイドマリーナ

SHONAN SUNNY SIDE MARINA

湘南の海で過ごす特別な時間
憧れのマリンライフを実現させる場所湘南エリアの中央に位置し、周辺には
クルージングや釣りのポイントも多数

湘南サニーサイドマリーナは1996年4月、神奈川県横須賀市佐島に誕生し、ヨット、モーターボートの販売、保管、メンテナンスなどを通じて、幅広くオーナーをサポートしている。マリーナがある横須賀市秋谷、芦名、佐島地区は海と緑に囲まれた自然豊かな場所で、近年別荘地として人気となっており、都会の喧騒を忘れさせてくれる落ち着いた雰囲気も魅力の一つ。メインフィールドとなる相模湾には江の島、鎌倉、三崎港など、クルージング

スポットとしても人気のエリアが点在し、裕次郎灯台や江の島周辺の観光スポットを海上からも楽しむことができる。穏やかな水域が広がるマリーナ周辺は海水浴場も多く、夏場はボートをアンカリングしてプライベートな空間で海水浴をしているオーナーも多い。また、東京湾まで足を伸ばすと系列マリーナの「サニーサイドマリーナウラガ」のある浦賀エリアでランチクルーズを楽しめる。マリーナでは泊まりのロングクルージングも人気の遊び方の一つとなっており、熱海、伊東、初島エリアなど、クルージングポイントにも非常に恵まれている。もちろん、相模湾はボートフィッシングも盛んなエリアで、マリーナ周辺には有名なポイントも数多く存在することから、真鯛、アジ、ヒラメ、ムツ、青物など、初心者の方も年間を通じて様々な釣りを楽しめる。



マリーナが運営する「佐島が丘メガソーラプラント」。2014年に社会貢献活動の一環として太陽光発電による電力供給事業を開始。発電量は約2メガワット、年間約155万キロのCO2削減効果があり、クリーンなエネルギー供給でSDGsに取り組んでいる。



湘南サニーサイドマリーナは都内から約50分とクルマでのアクセスも良好。周辺には釣りやクルージングスポットも多く、遊びの拠点に最適だ。



2021年に50ft以上を対象とした海上係留保管施設を竣工。計30区画はすべてシングルバースで設計されている。

湘南サニーサイドマリーナ株式会社

〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名1丁目17番8号

TEL:046-856-7810(代表) FAX:046-856-2760

https://www.sunnyside.co.jp



係留バース入口には専用ゲートが設けられ、セキュリティも充実している。



最大200ftまでのポート・ヨットを係留可能な大型バースも用意されている。



1. 昨今のポート大型化のニーズに応えるため、日本最大級となる75t自走式クレーンを完備。80ftクラスのビッグボートの揚降も可能。2. 施設内には計4基の上下架施設を完備し、オーナー艇をスムーズに揚降している。3. マリーナではボートのメンテナンスはもちろん、艀装やレストアにも力を入れており、高い技術力を持った自社メカニクが幅広く対応してくれる。4. クラブハウスは24時間利用可能で、早朝出航の際にも非常に便利。館内には清潔感のあるシャワールームもある。5. 陸上には225隻の収容能力を誇る広大なポートヤードがあり、様々なタイプのポート・ヨットを艇置している。6. マリーナからは雄大な富士山の眺めを楽しめる。お勧めは空気が澄んでいる秋から冬にかけて。

経験豊富な販売スタッフが感じた
ポーナムシリーズの魅力とは

今回はマリーナでボート販売業務を担当する若林孝典氏にポーナムシリーズの魅力についてインタビュー。まずは走行面に関してお聞きすると、「ポーナムは高剛性のあるアルミハルやハイブリッドハルの波切りの良さが抜群です。ポーナムの爽快感溢れる走りはオーナー様にも大変満足して頂いております。また、ポーナムはお連れ様からの評判もとても良いという印象です。先日オーナー様のゲストの方がポーナムに乗られた際、ポーナムの走りに感激され、出航予定の無かった翌日にも皆様でポーナムに

乗って海に出られたことがありました。」と走行性能はもちろんのこと、ボートに乗る楽しさも感じさせてくれるポーナムシリーズの魅力が高く評価していた。続いて、居住性能についてお聞きすると、「ポーナムには見た目の格好良さやラグジュアリーな雰囲気があります。ボートのルックスや雰囲気が良いことで、ボートに乗るだけ、遊ぶだけでなく、『船で過ごす時間』というのも、より充実したものになると思います。内装もサイズが上がるごとに、よりハイクラスなフォルムや内装のデザイン・レイアウトについても高く評価してくれました。最後にテクノロジー(操船支援システム)についてお聞き

今回お話を伺った営業販売課係長の若林孝典氏。これまで様々なタイプのボートやヨットを販売しており、豊富な経験をもとにポーナムシリーズの魅力を語ってくれた。



すると、「TVASは精度も非常に高く、釣りやクルージングのシーンでも十分にご活用頂けると思います。細かな部分では離着岸の準備をしたりすることもできるので、幅広いシーンで活用できると思います。」とTVASを絶賛していた。これまで様々な艇種を販売してきた若林氏からも、ポーナムシリーズを高く評価する声を頂くことができた。

海と心が豊かに結ばれると、人はもっと幸せになれる。

PONAM-31

SPORT UTILITY CRUISER



※写真はXグレードです。



※写真はXグレードです。



※写真はXグレードです。

PONAM-31は「スピード」「乗り心地」「居住性」の全てにこだわり抜いた、「走りの楽しさ」を体感できるボートである。走行時には抜群のスピードはもちろん、高い安定性も発揮し、スポーティーな走りを存分に楽しめる。サロン入口には3枚扉を採用し、従来よりもワイドな開口部の実現により、サロンとデッキの一体感を感じられる。Xグレードのサロンはネイビーカラーをアクセントにしレザー調で統一され、ソファやテーブルの高さを低めに抑えることで、広がりのある室内空間を演出している。他にもオプションで安心かつ正確な離着岸ができるトヨタドockingサポートも搭載可能となり、これまで以上に操船の負担が減りそうだ。まさにスポーツユティリティクルーザーの名に相応しい1艇と言えるだろう。

全長/全幅	10.57m/3.20m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 2基
最高出力	191kW(260PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	620リットル
清水タンク容量	110リットル
定員	12名 (フライブリッジ 5名)
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	Xグレード 42,130,000円 Zグレード 45,650,000円



PONAM-31に新たに追加された「Zグレード」ではコロナ禍で変化する生活様式に対応すべく、「Workcation Utility & Luxury Party Style」を開発コンセプトに、利便性とスタイリッシュさを両立する新装備を数多く採用。デザイン面ではクルマのドレスアップパーツを世に送り出す「MODELLISTA」とボートでは初めてコラボレーションし、先進かつ優雅な佇まいを演出。また、船内にはオプションでWi-Fi設備をビルトインすることが可能で、海を眺めながらの開放的なサードプレイスのワークスタイルを実現。室内空間は誰もが船内で寛げる快適性が追求され、「withコロナ」の時代でも安心して利用できるよう、トヨタ車両にも多く採用される「ナノイ-X」をポーナムシリーズとして初搭載(標準装備)している。



PONAM-31
Z Grade
Designed by
TOYOTA MARINE × MODELLISTA

※写真はZグレードです。
※写真はCGです。実物と異なる場合があります。

PONAM-35sw

PREMIUM CRUISER



PONAM-35swは外洋での本格的なフィッシングや走るの喜びを味わえるクルージングのシーンにおいて、ご家族やご友人、女性にも喜ばれるラグジュアリーな時間を過ごすことができるモデルだ。一步サロンに入ると、洗練された空間が広がっており、居住性の高いサロンで上質なひとときを過ごせそう。また、サロン奥に配置されたギャレーはシンク、電子レンジ、調理スペースの他に、大容量冷凍・冷蔵庫が設置されており、ポートステイも存分に楽しめるだろう。他にも、トヨタドライブアシストとトヨタバーチャルアンカーシステムを装備していれば、既存艇にもトヨタドockingサポートを追加装備することが可能だ。走りや居住性を両立したボートに新たな操船支援システムを搭載することで、より快適なマリライフを楽しむことができそう。

全長/全幅	11.95m/3.94m
エンジン型式(ディーゼル)	M1VD-VH
排気量	4,461cc × 2基
最高出力	272kW(370PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	850リットル
清水タンク容量	170リットル
定員	12名 (フライブリッジ 5名)
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	76,780,000円



PONAM-28V

PREMIUM SPORT CRUISER



PONAM-28VはFRP、アルミ材、カーボン繊維の3種類をバランス良く使用したトヨタハイブリッドハルを採用し、従来のアルミハルに比べ、同等以上の剛性感と凌波性を実現するだけでなく、船体重量の軽量化にも成功している。そして、1基掛けエンジンでは世界初となる1軸TVASにおいては新たに作動中の充電機能を追加しており、使用時間が従来の約2倍に延長されたことで、これまで以上に長時間のフィッシングにも対応可能となった。船体のデザインはカーデザインで採用される複雑な3D曲面により、立体的なフォルムと曲線美を追求し、美しいデザインを実現。他にも、キャビン内には自動車で培った技術を応用した業界最高レベルの除湿機能付きマリンエアコンを搭載している。

全長/全幅	9.14m/3.16m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 1基
最高出力	191kW(260PS) × 1基
使用燃料	軽油
ハル	トヨタ ハイブリッド ハル
燃料タンク容量	330リットル
清水タンク容量	56リットル
定員	12名
航行区域	平水、限定沿海、沿岸
本体メーカー希望小売価格(税込)	Sグレード 21,780,000円 Xグレード 28,380,000円



※写真はSグレードです。

TOYOTA MARINE Ocean Style

- 発行人 トヨタ自動車株式会社
- 編集長 池淵 弘 (マリン事業室)
- フォトグラファー 福地 和男 / 石川 三紘 / 石川 雄基
- ライター 中田 雅博 / 石川 雄基 / 神谷 仁
- デザイン・レイアウト 野口 浩司 / 加藤 憲明
- 企画・製作 M's PLANNING inc.



TOYOTA MARINE × muta MARINE



まえ



うしろ

コラボポロシャツプレゼント

アンケートにお答え頂いた方の中から
抽選で3名様に
TOYOTA MARINE × muta MARINE
コラボポロシャツをプレゼントいたします。

応募締切: 2022年11月10日(木)まで

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケートに
回答する

所要時間: 約4分



※ご回答頂きましたアンケート内容に関しましては、今後の編集・企画立案の際に参考にさせていただきます。また、ご入力頂きました個人情報については読者プレゼント発送のほか、当社が個人の内容を特定できないような統計的な資料を作成する際に利用させて頂く場合もございます。個人情報に関しましては当社にて厳重に管理し、この目的以外で許可なく第三者への提供はいたしません。



be free!
太陽と海のリビングへ。



モダンな中に、ゆとりを追求したインテリア空間は、まるで居心地の良いリビングのような雰囲気。海との一体感を高める3枚扉のキャビドアが、かつてない開放感を創出します。さらに、離着岸とアシストする新開発のTDSをはじめ、マリナライフを楽しむための最新技術も導入しました。ここにしかないプレミアムな時間をあなたへ。

Sport Utility Cruiser
PONAM-31
X GRADE



■PONAM-31 Xグレード：本体価格 42,130,000 円(税込)

※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含むことがあります。

安心して正確な離着岸が行なえる操船支援システムです。

NEW! **TDS** TOYOTA DOCKING SUPPORT
トヨタドッキングサポート
(オプション)

トヨタドッキングサポートは、帰着する場所のGPS位置情報を登録し、港内での離着岸操船をコンピューター制御でアシストするシステムです。一人での離着岸操船や桟橋係留などを安心して行えます。

※イラストはイメージとなります。実際の船の動きとは異なります。

DOCKING ASSIST
ドッキングアシストモード



SIDE SLIDE
サイドスライドモード



TDS動画



Instagram



詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン事業室 トヨタマリン営業所

☎ 0120-532-451 | www.toyota.co.jp/marine/



AA
TOMA

<http://www.toma-awning.com/>

抜群の存在感!快適なクルージングが楽しめる!!



広大な海に浮かぶ異空間に流れ込む風が、
少しだけここで休んでまた抜けていった気がした…。

TOMA AWNING

美しく頑丈な「トマレーダーアーチ」誕生!「トマオーニング」と併用で一体感アップ!!



[総発売元]

株式会社 丸菱製作所

愛知県春日井市大手町字川内1045
TEL:0568-31-8414 FAX:0568-31-8489





REGAR

株式会社リガーマリンエンジニアリングは、SeaDekの認定加工業者(Certified Fabricator)のライセンスを取得し、国内での製造加工をしています。



PONAM35,PONAM31,PONAM28V お好みのデザインでご注文承れます



SeaDek®はHyperForm社の商標登録です。

株式会社リガーマリンエンジニアリング

三重県いなべ市大安町南金井1732番地
TEL:0594-87-0200 FAX: 0594-87-0300

リガーマリン シーデック

HP



Instagram



LINE@





海での感動とマリンライフを

素敵に広げるNTP2つのマリーナ

ボーナムの事なら販売・保管・メンテナンスまで全てお任せください!!



空から海へアクセスできる、新しいマリンライフの提案

中部圏トップクラスのサービスセンターは、大型艇の修理、メンテナンスからカスタムまで対応。お気軽にご相談ください!!



マリーナハウス

名古屋中心部から車で45分。家族や気の合う仲間たちとのんびり快適なマリーナライフを。レンタルボートクラブ、ボート免許スクールも実施!!



カフェハウス/メインサロン



BBQコーナーを設置
レストハウス



修理工場



NTP マリーナりんくう NTP MARINA RINKU

〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-6-1
TEL.0569-35-7200
www.ntp.co.jp/marina/rinku



NTP マリーナ高浜 NTP MARINA Takahama

〒441-1325 愛知県高浜市青木町1-1
TEL.0566-54-5300
www.ntp.co.jp/marina/takahama



保管艇募集中!!

※マリーナりんくうにおきましては現在<陸上保管>の募集を一時中止させて頂いております。

年間保管料の一例

例 りんくう 45フィートの場合 (税込み)
年間保管料(海上) ※特約付 **1,776,500** 円/年
年間保管料(海上:一般) **2,090,000** 円/年

※船台料金別途。 ※陸上保管は実測長にて算出。 ※上記料金はあくまでも参考です。艦装によって変更あり。
◎上記以外に各入会諸経費が必要となりますので、詳しくはスタッフまでお気軽にお問い合わせ下さい。

例 たかはま 35フィートの場合 (税込み)
年間保管料(海上:B桟橋) **726,000** 円/年
年間保管料(陸上) 17フィート **11,000** 円/年

NTP マリンクラブ
会員募集中!
オーナー感覚でマリンライフを楽しむ! レンタルボートクラブのワンランク上のステータスを追求した会員制クラブ
NTP マリンクラブ事務局
☎ 0569-35-7820 (担当/永田・大竹)

NTP ボート免許教室 抜身の合格率!
受講生募集中!
1級、2級、特殊小型(水上オートバイ専用)の3コースをご用意。
¥84,000 (2級)
NTP ボートライセンススクール事務局
☎ 0566-54-5301 (担当/保科・杉浦)

NTP レンタルボートクラブ
会員募集中!
いつでも、乗りたくなったらレンタルボート! ボート免許取得者で18才以上の方ならどなたでも入会可能な会員制クラブ
NTP レンタルボートクラブ事務局
☎ 0566-54-5300 (担当/大岩・榎原)

MARINE SERVICE マリンサービス

あなたのニーズをかなえる、テクニカルメニュー



NTPマリンサービスセンターは、様々な艦装対応、船体修理を始め、オリジナルパーツからカスタマイズまで、高い技術力と内製体制でオーナー様のご要望にお応えします。

- 01 エンジン制御系駆動系
- 02 艦装
- 03 船体修理
- 04 塗装コーティング
- 05 オリジナルパーツ作製
- 06 カスタマイズ



NTP 名古屋トヨペット マリン事業部

〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-6-1 マリーナりんくうマリンプラザ内
TEL: 0569-35-7200 E-mail: marine@ntp-g.com

マリンメルマガ会員募集中!
NTPマリンの最新情報を好評配信中!



免許申込みがスマホから簡単に!



デジタルパンフレット完成!





*uno stile senza compromessi
per una vita piu' bella e creativa*

HASSIN

SeaDek



*uno stile senza compromessi
per una vita piu' bella e creativa*

Official Store location

【muta ONLINE STORE】 www.mutatokyo.com 【muta TOKYO JAPAN】 03-6721-0348 【muta SALONE】 052-265-8852

【muta MARINE TOKYO】 03-5770-4498 【muta MARINE GINZA SIX】 03-6263-8583 【muta MARINE ZUSHI】 0467-39-5589

【muta MARINE RINKU】 0569-38-1266 【muta MARINE BIWAKO】 0775-36-6445 【muta MARINE KYOTO】 075-223-5530

【muta MARINE OSAKA】 06-6484-6134 【muta MARINE HIROSHIMA】 082-247-6660 【muta MARINE FUKUOKA】 092-723-0018

【muta MARINE OKINAWA】 098-988-7088 【muta MARINE COLLINA DEL MARE】 098-989-8626 【muta MARINE GOLF PALLAZZO】 03-5220-4498

【muta MARINE GOLF NIHONBASHI】 03-6281-8380 【muta MARINE GOLF SHINJYUKU】 03-5990-2888 【muta MARINE GOLF NAGOYA MATSUZAKAYA】 052-264-2798

【muta MARINE GOLF NAGOYA TAKASHIMAYA】 052-566-3874 【muta MARINE GOLF the MODA】 052-777-7373 【muta MARINE GOLF OSAKA】 06-6252-5001

【muta MARINE GOLF FUKUOKA】 092-713-0018 【muta GLOBALE KANAZAWA】 076-264-8881 【muta GLOBALE KOBE】 078-232-3988



www.muta-japan.com

muta JAPAN co.,ltd.
Copyright© 2015-2022
muta MARINE ALL Rights Reserved.



※撮影のため、ライフジャケットの着用をしておりませんが、安全に十分配慮して撮影しております。

そのクルマは、
クラウンという名前でした。

DISCOVER YOUR CROWN.

新しいクラウン、はじまる。